

2023年度
事業計画書
収支予算書

自 2023年 4月 1日
至 2024年 3月31日

2023年度事業計画

■ 基本方針

東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に高まった、全ての人が共に生活できる社会の実現の機運を更に促進させるため、展覧会および舞台芸術公演等を開催し、これら事業の実施を通じて多様な価値観や生き方があることを伝え、それぞれの個性を祝い、支えあう社会のあり方を探り、人々の固定観念を変える契機となることに寄与することを目的として事業を行う。

■ 障害者の芸術活動に関わる展覧会の運営及び情報発信

1. 目的・目標

障害や性、世代、言語、国籍等を超越し、誰もが参加できる社会環境を作り、多様な人々が共に生きる社会の実現を目的として、絵画等の作品や舞台公演等あらゆる障害者芸術を通じて障害者による表現活動を紹介する。また、ウェブサイトや紙媒体等を通してより多くの人々にこれら表現活動を周知させる。これら活動を通じて、これまで興味を持たなかった若年層を中心に、障害者に対するイメージの打破と障害者自身の積極的な参加、より良い在り方や新たな関係性や試みを生み出し、誰もが居心地の良い社会の実現を目指す。

加えて、それぞれが多様な価値観や多様な生き方を認め合いながら、互いに支えあう社会のあり方を探り、人々の固定観念を変える契機となることを目指す。

2. 事業内容

■ 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展事業（2022年度継続事業）

a. 「第5回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」展覧会の開催

2022年度に募集した作品の中から主として入選作品を展示した展覧会の開催。

名 称 第5回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展

主 催 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

共 催 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団（横浜会場）

協 力 国際障害者交流センター ビッグ・アイ

Bunkamura（東京会場）

阪急うめだ本店（大阪会場）

展覧会アートディレクター 中津川浩章 美術家／アートディレクター

会 場 <東京会場>

会期 2023年3月15日(水)～3月26日(日)

時間 10:00～19:00 (15日(水)は15:00 OPEN)

会場 Bunkamura Gallery/Wall Gallery

<横浜会場>

会期 2023年3月29日(水)～4月2日(日)

時間 9:30～18:00 (4月2日(日)は17:00まで)

会場 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

<大阪会場>

会期 2023年4月12日(水)～4月17日(月)

時間 11:00～19:30 (4月17日(月)は16:00まで)

会場 阪急うめだ本店 9階阪急うめだホール

内 容 受賞作品(9点)、入賞作品(53点)、
国外佳作作品(13点)、別枠作品(12点)の展示(各会場とも)
※東京会場初日に、報道関係者向け内覧会を実施。

■ 情報発信事業

a. Webメディアによる情報発信

Webサイト「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」を運営し、主催事業の周知とともに、国内外の障害者芸術に関係する人・作品・取り組みを取材した記事コンテンツ制作して公開発信する。また、当サイトが目指すターゲット層に響くような広く多様性をテーマとする記事発信を行い、内容の充実とユーザーの確保に努める。

日本語記事の適切な英訳を進め、海外の関心層にも日本の障害者アート活動を紹介する。

また、Webサイトのより一層のアクセシビリティ及び視認性と使用感の向上のためのアップデートを行う。

日・英ともに適切な内容と言葉で記事を発信するために、企画～取材～記事確認～発信までの一連の業務を統括管理する。

コンテンツを整理・アーカイブ化し、Webサイトを構造的により効率の良い情報発信運用を行い、ユーザーの利便性及び集客数向上を図る。

b. ソーシャルメディアの活用

日々のSNS(Facebook、Instagram、Twitter)発信と月一でメルマガ配信を行い、より効果的なWebサイト記事への誘導と事業の周知を促す。

c. 紙媒体による情報発信

Webメディア公開記事と連動したフリーペーパー「DIVERSITY IN THE ARTS

PAPER」を年2回発行と発送。全国各地への発送・配架協力依頼を進め、本事業に対するより多くの関心層の開拓を目指す。

主催・関連事業及び外部連携のイベント会場などで、バックナンバー含めたフリーペーパー配布とともに、Web サイトや SNS を利用したプロモーションを行う。

d. 書籍発行

Web メディア及びフリーペーパーにおいて2017年から制作・発信してきた記事の中からコンテンツを抜粋・編纂して書籍（電子書籍を含む）を刊行し、書店や図書館などを通じて当事業の発信と認知向上を目指す。また、発売の時機を捉えた広報・プロモーション活動を行う。

■ 新規ビジュアルアーツ事業

これまで実施してきた各事業を基礎としながらも、斬新かつアートを通じて障害のある人、ない人、すべての人々が交流し感動や喜びを共有でき、将来の標準化を目指した事業を企画・立案する。

初年度なる今年は、事業の立案とそれに基づくプランを具体化し、第2年度での事業実施に向け準備を行う。

日本財団DIVERSITY IN THE ARTS 収支予算

2023年4月1日～2024年3月31日

収入の部		支出の部	
事業活動収入		事業活動支出	
1. 事業活動収入	120,260,025	1. 事業活動支出	28,160,000
基本財産運用収入			
基金取崩収入	120,260,000		
情報発信事業	120,260,000	情報発信事業	28,160,000
雑収入(受取利息)	25		
2. 投資活動収入	0	2. 管理費支出	92,100,000
		3. 予備費支出	0
当期収入合計	120,260,025	当期支出合計	120,260,000
前期繰越収支差額	1,982,388	当期収支差額	25
収入合計	122,242,413	次期繰越収支差額	1,982,413

